



瀬戸内国際芸術祭2019 県内連携事業

いのくまさんの スケッチブック アートはバイタミン

猪熊弦一郎がスケッチブックに描いた作品の複製画を、 丸亀市内の商店や飲食店など30軒に展示します。 お近くの馴染みの場所で猪熊作品をお楽しみください。

開催期間:2019年**9月28日**(土)~2020年**3月31日**(火)

場所: 丸亀市内の店舗30軒 ※各店舗の営業時間にご覧いただけます











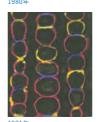


















▶丸亀市広域



▶丸亀市中心市街地



▶本島東部





▶スケッチブック作品の展示店舗

	店名	営業	定休	電話	住所
1	丸亀ミロクブルワリー(パブ)	夜	日、月	0877-43-7067	北平山町2-5-15
2	WILD FINGER SOS $(>-7-1)$	夜	火	0877-89-3855	大手町3-11-13
3	本格手打うどん つづみ(うどん)	昼	水	0877-25-0730	通町52-2
4	麺処 綿谷 丸亀店(うどん)	昼	日	0877-21-1955	北平山町2-6-18
5	OIKAZE SHOP (お土産) / まるがめチャコリスタンド (バー)	昼夜	火	0877-58-1088	通町35-2
6	御菓子司 寶月堂(和菓子)	昼夜	なし	0877-23-0300	米屋町16
7	café la taupe(カフェ)	昼夜	月、第1火	0877-23-3008	通町28-3
8	菓子屋キノシタ(洋菓子)	昼夜	火~金	0877-85-8412	浜町46-1
9	炭火焼とり わきや(居酒屋)	夜	日	0877-23-0829	通町11
1	Bouffier la rue (花屋)	昼夜	不定休	070-1531-4795	南条町1-1 丸亀ビル1F
•	BAKERY TREAPI(パン)	昼	日	0877-85-9566	通町139-1 藤澤ビル1F
12	中華そば三丁目(ラーメン)	昼夜	日	090-5915-2946	浜町115-3
13	$HonjimaStand(\mathfrak{H}\mathcal{I}\mathfrak{z})$	昼	水、木	070-2301-5862	本島町泊494-16
12	Gallery&Cafe 吾亦紅(カフェ)	昼	月、火、水	090-7575-3827	本島町笠島312
15	ラトリエ・ル・マ (フレンチ)	昼夜	月	0877-85-9803	三条町526-7
16	BUBUCANE(カフェ)	昼夜	水	0877-24-0723	田村町1766-10
1	ウーフ(児童書)	昼夜	月	0877-24-4667	土器町西5-88
18	ながぐつ(イタリアン)	昼夜	木	0877-85-6362	土器町東9-138
19	旅ベーグル (ベーグル)	昼	月	0877-43-2341	中津町979
20	カラシヤクラシック(ラーメン)	昼夜	日	0877-24-7771	原田町1586-1
21	felice(カフェ)	昼	日、不定休	0877-85-7206	柞原町1075-5
22	純手打うどん よしや(うどん)	昼	火	0877-21-7523	飯野町東二343-1
23	PIZZERIA CON CUORE(ピザ)	昼夜	火、不定休	0877-88-8288	飯野町東二342-1
24	明水亭(うどん)	昼	月、第2日	0877-28-9981	垂水町956-2
25	坂元珈琲(カフェ)	昼	水	0877-98-6886	飯山町西坂元936-5
26	楓(コーヒー、器販売)	昼夜	月	0877-85-8023	飯山町東小川1252-1
27	汐さぎ!庵(レストラン)	昼夜	日、第2・4月	0877-89-0180	綾歌町栗熊西1782-2
28	レストラン シェ・ナガオ(フレンチ)	昼夜	火、不定休	0877-86-2144	綾歌町栗熊西1127
29	KITOKURAS(カフェ)	昼	木	0877-86-5331	綾歌町栗熊東3600-5
30	はるくもsun.(パン、カフェ)	昼夜	月、木 (パン無)	080-5377-2118	綾歌町栗熊西1620-4

※営業時間の詳細についてはWEBサイトをご覧ください http://www.mimoca.org/ja/events/2019/09/28/1973/



【お問い合わせ】

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館/公益財団法人ミモカ美術振興財団 「いのくまさんのスケッチブック アートはバイタミン」担当 Tel 0877-24-7755 Fax 0877-24-7766

Mail mimoca_info@mimoca.org

いのくまさんのスケッチブックについて

熊弦一郎(いのくまさん)が多く残したスケッチブックは気負わ ずに自然体で描いている点で、カンヴァス作品とは違う面白さが あります。1冊ごとに異なる魅力があり、作風や技法、モチーフの種類や 組み合わせなどもじつに様々ですが、美術館でスケッチブックを展示

するときは、ひらいた1ページしかご紹介できませ ん。本企画では、精巧な複製画を多くの店舗に展 示することでたくさんのページを気軽にご覧いた だき、スケッチブックそのものの魅力をお伝えし ます。今回は、明るく鮮やかな色づかいが魅力的 な3冊のスケッチブックをご紹介します。



1977・82年に描かれたスケッチブック

「アートはバイタミン」とは?

らしのなかに美しいものがあると、生活にうるおいが生まれ、心が 豊かになります。猪熊は暮らす場で良い作品を見ることについ てこんな言葉を残しています。「大きいのをかけてみると、もう、自分が 生き返ったようになりますもの。それを毎日、ちょっと見るだけでね。だか ら、アートというものは、心のヴァイタリティーの一つの薬みたいなもの ですね。それを大きくすりゃあ、ミュージアムでしょう。病院という、病気 のための、人間を生き返らせる機械があるとすると、ミュージアムという のは心の病院です。それを一点でも、もってきて家庭に置けば、結局、 バイタミンのいいのを毎日飲んでるようなものですね。」

(対談:猪熊弦一郎、盛田良子「絵かきは長生きしないと」『味の手帖』1982年9月号) ※バイタミン=vitamin(ビタミン)